

2020年(令和2年) 3月17日

東芝テック株式会社

スマートレシート

〒141-8562 東京都品川区大崎1-11-1
URL: <https://www.toshibatec.co.jp/>電子レシートサービス『スマートレシート』が
広島・岡山・香川・愛媛・徳島・兵庫に展開する
株式会社ハローズ様で導入決定！

東芝テック株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：池田 隆之）が提供する電子レシートサービス「スマートレシート」は、POSシェア国内1位の強みを生かし、レシート情報（買い物履歴）をデータで受け取り、一元管理するスマートフォンアプリです。

これまで紙で発行されていたレシートの不便な面（財布の中での管理や、家計簿などへの二次利用に手間がかかる点）を解消することで顧客満足度を向上し、店舗側にとってはレシート用紙のコスト削減にもつながるソリューションとなります。

本サービスは国内で採用事例が増えており、このたび、株式会社ハローズ（本社：広島県福山市、代表取締役社長：佐藤 利行）でも導入されることとなりました。

佐藤社長は、「毎日のように利用して頂くお客様へ、さらなる便利と環境への配慮を考え、スマートレシートの導入を決めました。財布がレシートで膨れる事がなく、いつでも買物履歴を確認でき家計簿作りも楽になります。電子レシート化は、紙のレシートを減らしサステナブルの面でも有効で、これからの時代にマッチしたサービスだと思います。そして今まで出来なかった様々な販促ができる事も魅力です」と導入の理由について語っておられます。

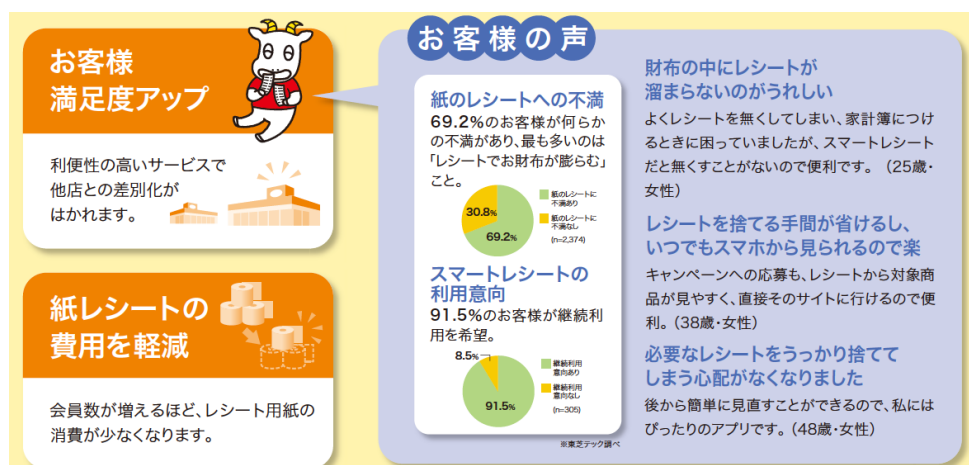
現在、政府は、スマートフォンを介したデータの利活用を見据えて標準規格化を行い、データの統一化を進める動きが起きております。キャッシュレス・ポイント還元事業などでキャッシュレス化も推進し、電子決済サービスの利用が増えてきました

しかしその一方で、買物時のレシートの電子化は遅れていましたが、消費者の利便性向上、ビッグデータの活用を目的に、社会インフラとしての注目度が高まり、電子レシートを採用する小売企業が増えていきます。

利用企業数が増える中で、さらなる利用者の利便性向上のためスマートレシートでは、セルフメディケーション税制の申告に使える機能を実装し、また「Tポイント」のスマホアプリと連携を予定するなどデータ活用の幅を広げております。

今後も月数社ペースでの稼働開始が予定されており、数年以内のアプリ利用者数100万人達成をめざします。
＜導入実績（2020年1月31日現在）＞

コープ東北の4生協、とりせん、カメガヤ、ユニバースなど89社793店舗、19万人





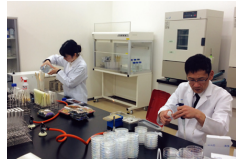
お客様が、いつでも買い物できることを究極のサービスと考え全店で365日・24時間営業を実施。



株式会社 ハローズ
代表取締役社長 佐藤利行 氏



物流センターによって24時間営業を支えるとともに、物流を集約して配送コストの低減を図っている。



ハローズの自社品質管理室



全店365日24時間営業 高品質低価格な“地域一番お客様貢献店”！

株式会社ハローズは、中国、四国及び近畿地方 6 県の主要都市に出店する食品スーパーマーケットで、全店365日24時間営業をしています。

「和して向上 日々感謝」を社訓に、創業以来「地域社会の生活文化向上に貢献する」を経営理念の第一義として、「ハローズと出会うすべての人々の笑顔のために」従業員が一丸となって日々努力を積み重ねています。

600坪店舗を標準フォーマットにお客様の買物のしやすさを大切に、24時間営業とゆったりとした買物空間を提供しています。

お客様の利便性を高めるために、ハローズ電子マネー付きのポイントカード「ハロカ」を導入。10,000円のチャージで50ポイントプレゼント、200円のお支払い毎に2ポイント進呈するサービスを実施し、500ポイントで500円のお買い物券を発行しています。

さらに今回、お客様のさらなる利便性向上を目的にスマートレシートを導入しました。

また、自社品質管理室を設けるなど安全・安心な商品の販売は勿論のこと、省エネ什器の導入やリサイクルステーションの設置などを進め、環境保全活動に取り組んでいます。

<https://www.halows.com>

「スマートレシート」とは

東芝テックが開発した「スマートレシート」は、通常は紙として提供される買い上げ商品の明細レシートを電子化し、電子レシートセンターがデータとして預かり、買い物客が自分のスマートフォンのアプリですぐにレシート内容を確認することができる仕組みです。

また、電子レシート上で購買証明を発行しスマホで応募できるキャンペーン機能や、購入履歴を基にターゲットを選定して配信するオンラインクーポン機能、購入金額に応じて自動押印するデジタルスタンプカード機能といった、新たな販促プラットフォームの提供により、導入企業は集客力向上や顧客満足度向上が期待できます。

今後は、お薬手帳との連携、レシートの多言語対応、購買情報のビッグデータ活用へも、つなげていく予定です。

日本で最初にスマートレシートを採用頂いたみやぎ生協様では、「スマートレシート」の登録者数が36,000人（20年1月末時点）を突破した上、一度利用した方の91.5%の方が継続を希望するなど好評頂いております。

「スマートレシート」の使い方

① アプリをダウンロードして会員登録



② レジにてバーコードを提示※



※自社ポイントカードと連携することができます。

③ いつも通りお支払い



④ スマホでレシート確認



「スマートレシート」の詳細はこちら <https://www.smartreceipt.jp/>

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

東芝テック株式会社 リテール・ソリューション事業本部 サービスソリューション推進部（長谷川・北川）
TEL 03 (6830) 9297 URL: <https://www.toshibatec.co.jp/>